

青組保護者各位

黒野こども園



あけましておめでとうございます。新しい1年が子ども達にとって、また保護者の皆様にとっても笑顔がたくさんになる年になりますようにお祈り申し上げます。残りの園生活も残すところ、あと3カ月となりました。もちろん寂しくも感じますが、子どもたちがここまで元気でたくましく大きく成長した喜びをしみじみと感じております。私事になりますが、今のこども園での生活と自分の幼少期（幼稚園生活）と照らし合わせることがあります。私は幼稚園が大好き、友達も先生も、歌って踊ることも、ままごとマラソンも縄跳びも、全部が大好きでした。

（唯一苦手だったのは・・・給食の五目ご飯）家では祖父がままごとの相手もしてくれましたが、やっぱり友達とのほうが楽しい！家でも母が縄跳びを見てくれたけど、先生や友達の前で披露する方が楽しい！そして園児の私にとって先生はあこがれの存在でした。私も幼稚園の先生になりたいな、と思ったことがきっかけで、今の私があります。大好きな園、大好きな子供たちと一緒に過ごす毎日はとても充実しています。今は、子ども達が楽しく過ごしている姿を見ることが嬉しくさまざまなことを一緒に経験、挑戦できることがすごく楽しいです。今、子どもたちは、小学校への期待と同時に、今の友達と離れ離れになってしまうことも少し不安に思っているようです。しかし、黒野こども園で身につけた力がいろんな出会いの中でつながることでそんな不安を吹き飛ばしてくれることと思います。（文責：中野）



小学生になる為の階段



〈今月のテーマ〉★★友達の気持ちに気が付こう

友達がハンカチを拾ってくれた、困っていた時に「どうしたのって聞いてくれた」と毎日友達同士での助け合いがよく見られるようになってきました。思いやりの心が育ってきたなとほっこりします。しかしやってもらった側は「ありがとう」と、なんとなくお礼を言うものの、何かそっけない態度が多いことが気になっていました。保育教諭が「～くんが拾ってくれて嬉しかったね」「～ちゃんって困っていると助けてくれるね」とあえて言葉にして伝えていきます。また、時々、“友達のいいこと見つけ”を話す時間を作り、子どもたちから友達のいいところ、してもらって嬉しかったことを話す機会をつくることで友達への興味関心が深まって来ました。しかし、友達とトラブルが起きた際、自分の意見を主張しすぎてしまい、相手の思いが聞き入れられなかったり、子ども同士では解決まで至らなかったりすることもあります。小学校に入ると自らコミュニケーションを取らなければならない場面が増えてきます。周りの大人に助けを求めることも自分の意見を主張することも大切ですが、言葉や気持ちが一方通行のままでは、相手の思いに気付くことが出来ません。自分の考えや思いを言葉に出来るようになってきた今の時期だからこそ、“こうやって話せば伝わるんだ”“こんな解決方法があるんだ”ということに気付くきっかけ作りをしているところです。「自分の話を聞いてもらえた」という安心感を味わうことで、相手の話にも耳を傾けることができると思います。ご家庭でも、忙しい毎日の中でついつい子どもたちの話を聞き流してしまうこともあります。時にはお風呂の中でゆっくりと向かい合って、お子さんを膝の上に乗せて話を聞く時間を作ってあげてくださいね。

<子ども達が安心して元気に生活できるように、保育教諭が子どもにすること>

- * 休み明けの生活習慣の乱れを取り戻し、健康で安全に過ごせるよう努めていきます。
- * 餅やお節料理、七草がゆなど行事に関する食について話題にして、意味を知ったり行事の大切さを感じられるようにします。
- * 冬の自然現象に触れ、その特性や変化に興味、関心を持ち、遊びに取り入れ楽しめるようにしていきます。
- * 友達の表情、態度から相手の気持ちを感じとり、行動できるようにしていきます。また、友達と意思を出し合う中で、互いに思い通りにならない場面では、自分達で折り合いをつけて解決しようとする姿を見守り、その姿を認めていきます。



<子どもの遊びや教育的活動>



- * 自分なりの目当てを持って試したり、挑戦したりする楽しさを味わいます。(こま回し、剣玉、縄跳び等)
- * 雪、つらら等、冬の事象に興味を持ち、特徴に気づいたり発見して楽しみます。
- * 絵本や物語を楽しみ、想像を膨らませて友達と表現して遊ぶ楽しさを感じます。
- * 遊びに必要なルールや決まりを友達と話し合っつくり、遊びを自分たちで発展させていきます。
- * 休みの間に家庭で経験したことを友達と共有し、遊びに繋げていきます。
- * 時計やカレンダーなどを見る習慣を身につけ、時間や曜日を意識して生活します。

青2組 寒くても元気いっぱい遊んでいるよ



外はとても寒く、体が縮こまりそうな毎日ですが、子どもたちは寒さなんてへっちゃらと毎日、園庭へ行き元気に遊んでいます。園庭へ出ると「ドッジしよう」「鬼ごっこやりたい」「サッカーするからゴール運ぶの手伝って」と友達を誘い合ったり「リレーするから線描いて」と保育教諭に頼みにも来ます。自分たちでペアを作ってじゃんけんをして、勝ったら青色帽子、負けたら黄色帽子、とルールを決めて遊ぶことも出来るようになりました。1回目で負けてしまっても「もう1回しよう」「次は勝てるように頑張ろう」と声をかけあっています。最初は一部の男の子たちが中心になって遊んでいましたが、元気に遊んでいる姿を見たり「ドッジ負けて悔しかったけど楽しかった～」「またリレーやりたいよね」と話しているのを聞いて「僕もやりたい」「私も入れて」と今まで見ていた子が参加をするようになりました。「ボール投げの時にもっと手を振ったほうがいいよ」「そっちにボール行ったら取ってね」と声をかけあいながら楽しんでいます。遊びの途中で「あ～暑い」「服、1枚脱ぎたい」と言うくらい白熱し思いきり体を動かしています。けん玉や、コマ回しなどお正月ならではの遊びも取り入れていきます。

